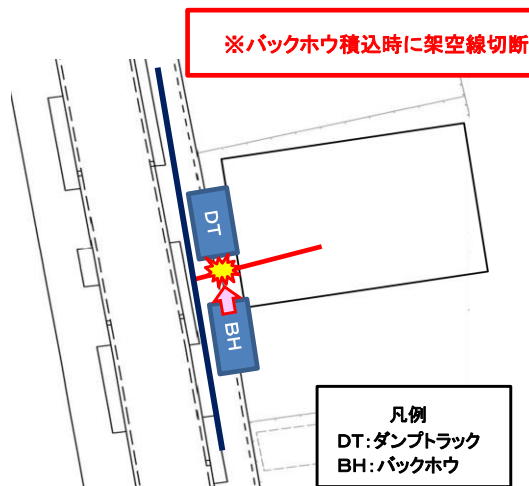


# 公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和 2年 6月 3日(水曜日) 16時 30分			工事関係者区分	一次下請
事故区分	架空線・信号等損傷	性別	—	年齢	—	業種区分	土木
被災程度	架空線切断	事故レベル	I			休業見込日数	—
工事概要	水道給水管取替工事						
事故概要	バックホウをダンプに積み込む作業中に、上空にあったNTT架空線を切断させたもの。						
事故原因	バックホウをダンプに積み込む際に、合図誘導者が路面清掃を行っていてバックホウの傍にいなかったこと、オペレーターが架空線の状況を十分確認せずに操作したため。						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業に先立ち、架空線など周辺状況を入念に確認する。</li> <li>作業時は合図誘導者を必ず配置し、オペレーターと合図誘導者が確認し合いながら作業にあたることを徹底する。</li> </ul>						

## 事故状況図



イメージ



## 改善状況図

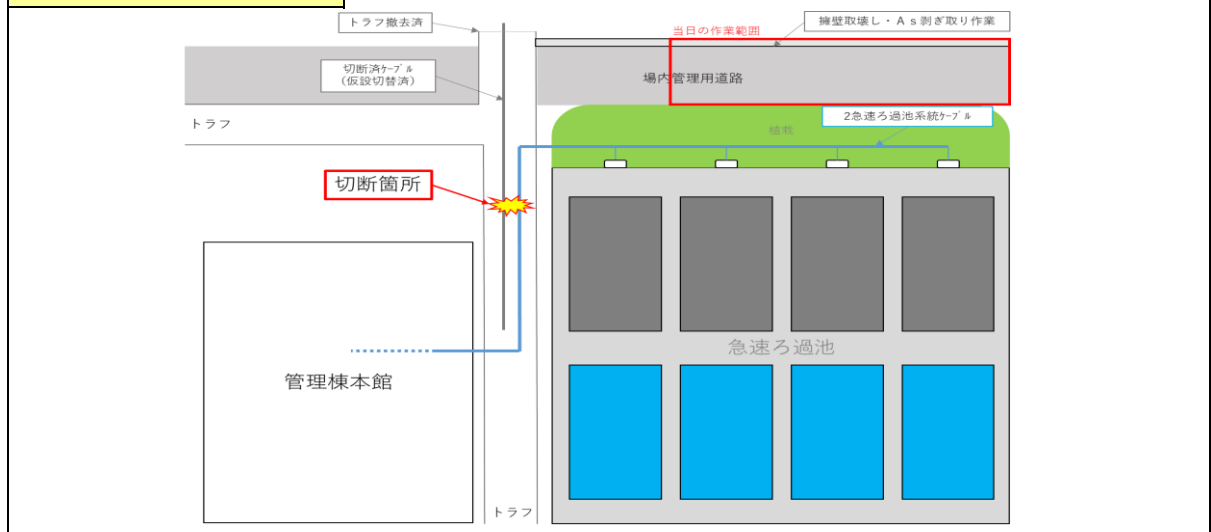


安全会議を実施

## 公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和2年6月5日(金曜日)10時58分頃			工事関係者区分	一次下請
事故区分	埋設物等損傷	性別	—	年齢	—	業種区分	土木
被災程度	ろ過池系統のケーブルを切断			事故レベル	I	休業見込日数	—
工事概要	浄水場整備工事						
事故概要	既設構造物の撤去作業中に、ケーブル用トラフ内に敷設されていた供用中のろ過池系統のケーブルを切断したものの。						
事故原因	<ul style="list-style-type: none"> <li>ケーブル用トラフ内には、供用中のケーブルと不要となったケーブルが混在していたが、作業責任者への確認を行わずケーブル全てを不要と誤認し切断した。</li> <li>当日の作業予定にないケーブルの切断作業を、作業責任者への確認を行わずに行った。</li> </ul>						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>全作業員に教育訓練を実施し、”浄水場は稼働中であり、ケーブル・配管も供用中である”ことを再認識させ、ケーブル・配管の切断は、必ず作業責任者の立会のもと、指定した作業員が行うことを徹底する。</li> <li>当日の予定に無い作業は、作業員が独断で行うことのないよう指導した。</li> <li>ケーブルや配管があるトラフ等の表面に、マーキングにより「見える化」し、注意喚起する。</li> <li>全作業員及び新規作業員も含め、適時現場教育を行い再発防止に努める。</li> </ul>						

### 事故状況図



### 改善状況図

#### 教育訓練の実施

R2.6.5

R2.6.10

#### ケーブル・配管明示状況

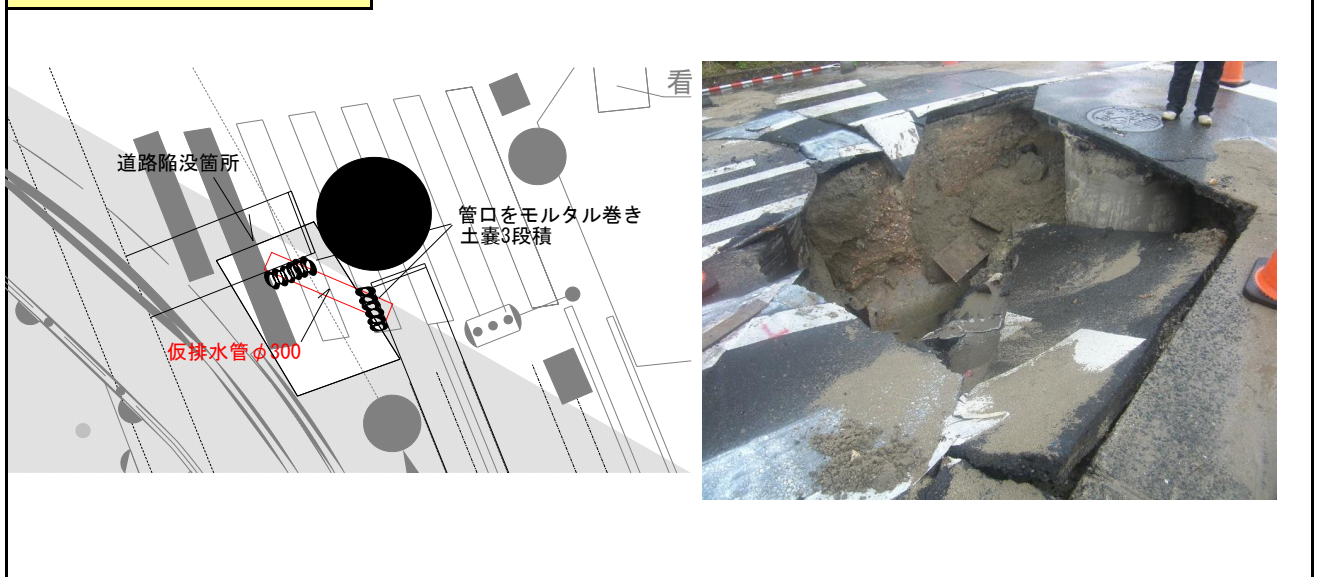
←→ : 「ケーブル有り」明示

←→ 「配管使用中」明示場所

# 公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	平成 2年 6月11日(木曜日) 7時20分			工事関係者区分	元請け
事故区分	陥没	性別	—	年齢	—	業種区分	土木
被災程度	道路陥没(縦3.3m横2.7m深さ1.8m)			事故レベル	I	休業見込日数	—
工事概要	推進工事						
事故概要	既設雨水管(φ1000mm)と仮設管(φ300mm)との地中接合部が外れ、土砂が管内に流入して上部道路が、陥没(縦3.3m横2.7m深さ1.8m)したものの。						
事故原因	当日早朝からの降雨により、既設雨水管内の流量が増して、接合部が水圧を支えきれずに外れて周辺の土砂を巻き込み、道路を陥没させた。						
改善策	工事の施工に当たり、契約図書内容に不備等を発見した場合、直ちに監督員に通知を行って、必要な手続き後に、工事を行う。また、会社の全体会議で再発防止対策を検討した。						

## 事故状況図



## 改善状況図



仮排水管φ300に追加してφ400を2本設置

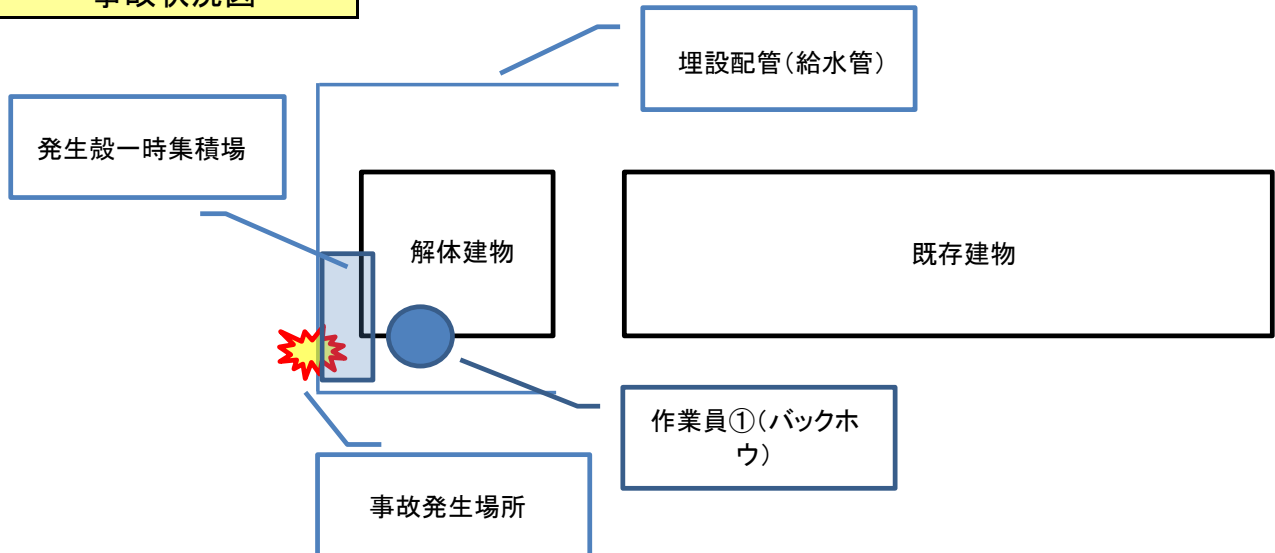


ケーシング内部にφ900の仮排水管を設置

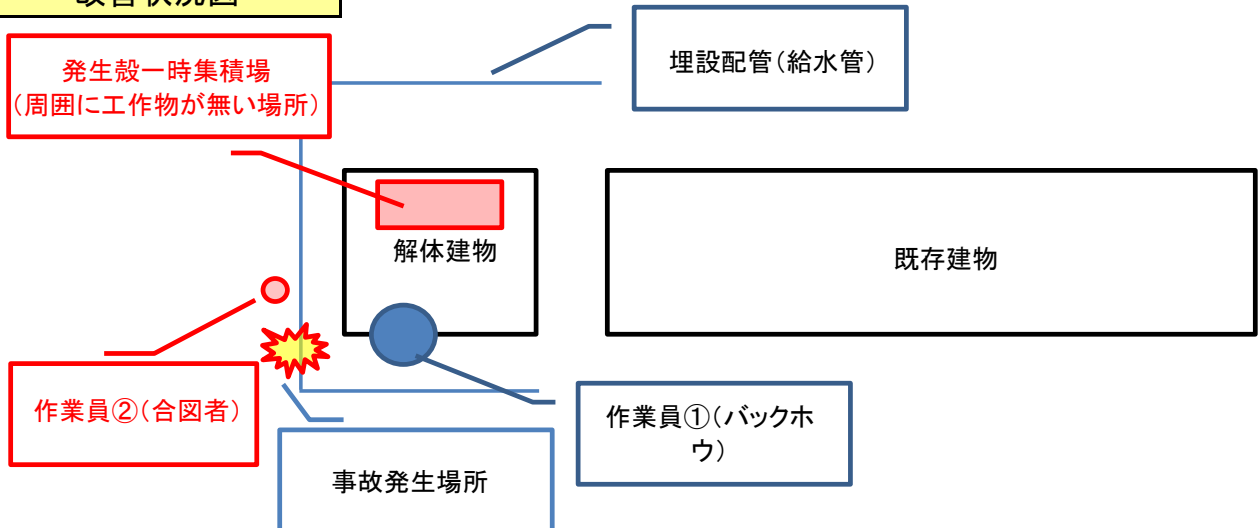
# 公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和 2年 6月 11日( 木曜日) 16時 30分			工事関係者区分	二次下請
事故区分	埋設物等損傷	性別	—	年齢	—	業種区分	建築
被災程度	給水管破損			事故レベル	I	休業見込日数	—
工事概要	プレハブ建物の解体工事						
事故概要	解体工事にて発生したコンクリート殻を埋設配管付近に一時集積していたところ、搬出作業の際に誤ってバケットが配管に接触し破損させたもの。						
事故原因	埋設配管が地下にある可能性があったにも関わらず、コンクリート殻を一時集積し、その後も搬出作業を行っていたこと。						
改善策	現場代理人常駐にて作業を行うよう徹底 (合図者の設置の徹底)						

## 事故状況図



## 改善状況図



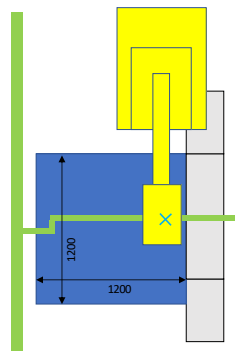


# 公共工事等事故情報

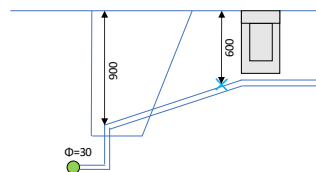
事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和2年6月12日(金曜日) 14時00分			工事関係者区分	一次下請
事故区分	埋設物等損傷	性別	—	年齢	—	業種区分	土木
被災程度	ガス供給管 φ=30mmの破損			事故レベル	I	休業見込日数	—
工事概要	道路空洞調査						
事故概要	空洞調査のため掘削を行っていた際、バックホウのバケットを誤ってφ30mmガス供給管に接触させガス供給管を破損させた。						
事故原因	φ30mmガス供給管については西部ガス職員立会のもと、位置確認を行った後に掘削作業に着手し、ガス管を露出させ、作業員が目視できる状況となっていたが、機械掘削を続けたため、ガス管の立ち上がり部分にバケットを接触させたものであり、オペレーター等の確認不足が原因と考えられる。						
改善策	地下埋設物周辺の掘削を行う際は状況に応じて刃先誘導員の配置や人力掘削を行うなど慎重な作業を行う。						

## 事故状況図

平面図



断面図



ガス管破損状況



## 改善状況図

地下埋設物付近の人力掘削



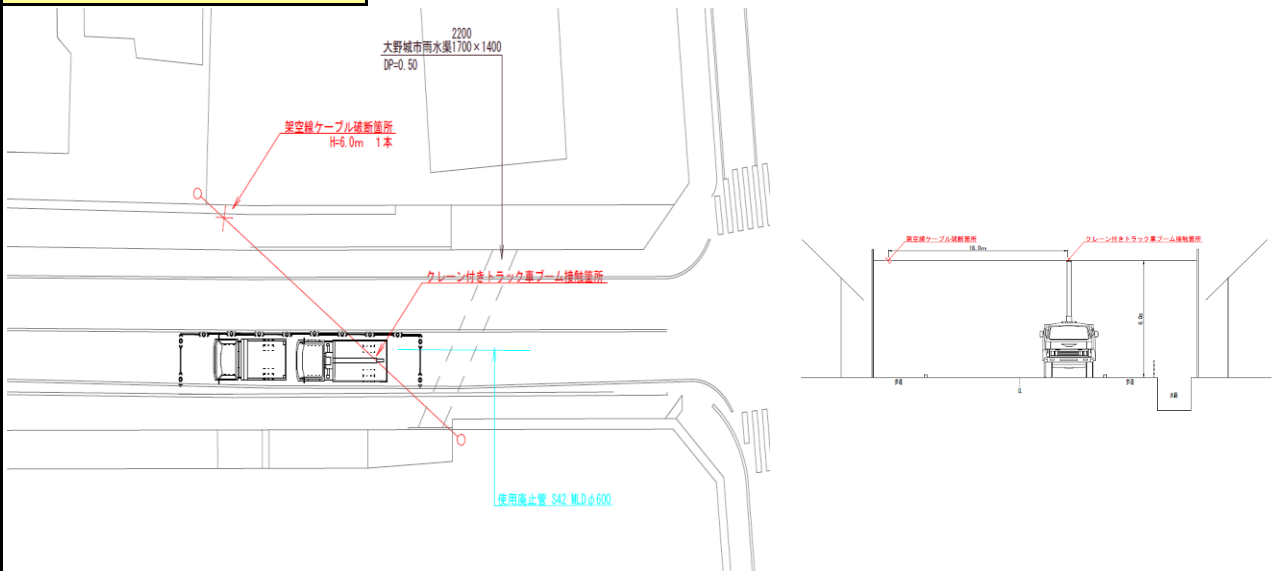
刃先誘導員の設置



# 公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和 2年 6月16日(火曜日) 21時25分			工事関係者区分	一次下請
事故区分	架空線・信号等損傷	性別	—	年齢	—	業種区分	土木
被災程度	インターネット回線ケーブル破損		事故レベル	I		休業見込日数	—
工事概要	管布設工事						
事故概要	当該架空線下において、モルタル充填作業に使用する照明設備などの資機材を4tダンプトラックから荷降ろししようとクレーン付きトラックのクレーンのブームを伸ばしたところ、ブームが架空線に接触し、そのままブームを伸ばし続けたため架空線が引っ張られ、接触箇所より約18m離れた位置で破断したものの。						
事故原因	当該作業を行うにあたり合図者を配置していたが、クレーン操作者と合図者の双方が周辺状況を十分把握しておらず、当該架空線に対し十分な注意が払われていなかった。						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故後、直ちに安全訓練を行った。</li> <li>・KY活動の際に、当日の作業内容や手順、工事区域内における架空線等の位置、作業に伴うリスクとその防止策を関係作業員全員に周知徹底し作業を行うこととした。</li> <li>・今後の作業にあたっては、架空線の位置を認識しやすくするため、地上部に架空線注意の表示を行うこととした。</li> </ul>						

## 事故状況図



## 改善状況図

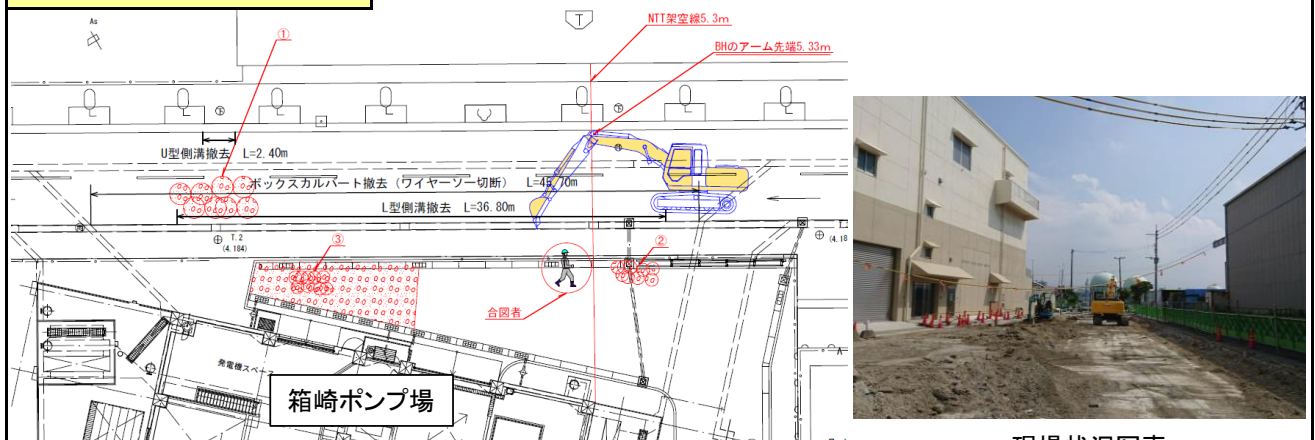
### 再発防止に向けた安全訓練実施状況



# 公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和 2年 6月 15日(月曜日) 14時 5分			工事関係者区分	元請け
事故区分	架空線・信号等損傷	性別	—	年齢	—	業種区分	土木
被災程度	架空線接触			事故レベル	I	休業見込日数	—
工事概要	ポンプ場場内整備工事						
事故概要	バックホウの移動中に、アームがNTT架空線に接触したものの。						
事故原因	バックホウのオペレーターが架空線の存在を失念して、アームを上げたまま架空線の下を移動したため。						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合図者に合図用の笛や旗を持たせる。</li> <li>・架空線の場所にマーキング及び看板の設置。</li> <li>・バックホウの移動、回転時にはクラクションを鳴らし、合図者と意思疎通を図る。</li> </ul>						

## 事故状況図



現場状況写真

- ①の鉞をバックホウでダンプトラックに積込。
- ダンプトラック及びバックホウを移動させ②の殻を積込。
- ③の鉞置き場に移動中、バックホウのアームを上げたまま移動したため、NTT架空線にアームが接触した。

## 改善状況図



架空線位置及び危険範囲のマーキング



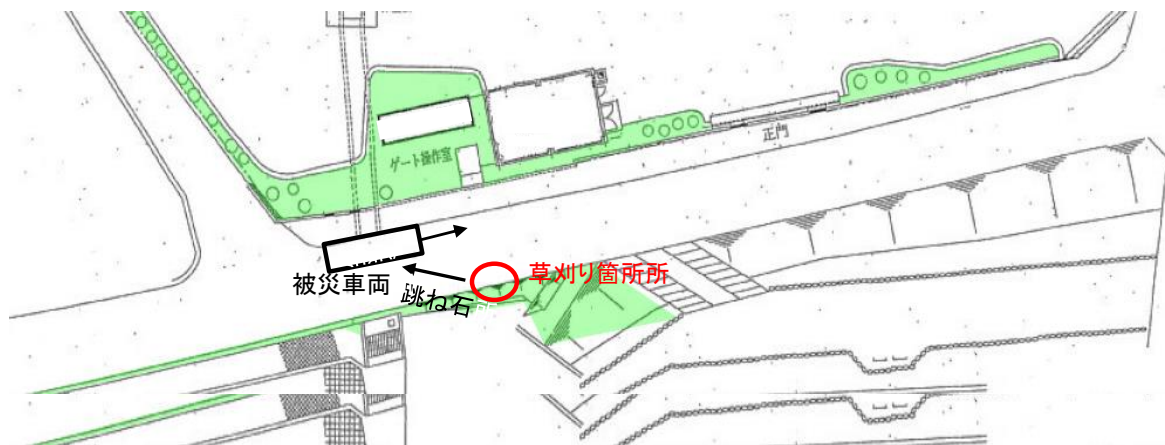
看板の設置



# 公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和 2年 6月 30日(火曜日) 12時 30分			工事関係者区分	元請け
事故区分	車両・自転車等損傷	性別	—	年齢	—	業種区分	土木
被災程度	走行中車両のサイド窓ガラス破損			事故レベル	I	休業見込日数	—
工事概要	草刈樹木剪定委託						
事故概要	刈払機による草刈り作業中に、小石がはね通行中の車の右サイド窓ガラスを破損させたもの。						
事故原因	跳ね石を防護する防護板等を使用していなかったため。						
改善策	作業員の事故を防止するために防護具は必ず着用すると共に、跳ね石によって人に怪我をさせたり、車に当たって傷をつけたりすることが無いように防護ネット等を使用し飛散防止対策を徹底させる。また、社内で安全会議(事故報告)を実施し、作業員の安全に対する意識を向上させ、事故の再発を防止することとした。						

## 事故状況図



## 改善状況図

